

2024年度 授業シラバスの詳細内容

| ○基本情報 | | | |
|-------------|---|-------------------|--------------|
| 科目名 | 特別活動の指導法 (A Study About a Teacher Training Course) | | |
| ナンバリングコード | K30109 | 大分類 / 難易度 科目分野 | 教職科目 / 応用レベル |
| 単位数 | 2 | 配当学年 / 開講期 | 3年 / 後期 |
| 必修・選択区分 | 教職関係科目(必修) ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。 | | |
| 授業コード | K006651 | クラス名 | - |
| 担当教員名 | 石橋 修 | | |
| 履修上の注意、履修条件 | 授業には毎回出席することを原則とします。また、教員免許を取得するのに相応しく、授業には積極的・主体的に臨んでください。 授業中のスマートフォンの使用、私語、居眠り、無断での途中退室など、教員志望に相応しくない行為は厳禁です。また、やむを得ない欠席や遅刻等は事前の連絡をするなど、「報・連・相」を身に付けましょう。 授業資料やレポート用紙等は研究室前に置いてありますので、必要な場合は随時取りに来てくださ | | |
| 教科書 | 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説・特別活動編 文部科学省 東京書籍 2018 | | |
| 参考文献及び指定図書 | 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説・特別活動編 文部科学省 東山書房 2017 授業の際に紹介したり、資料を配付したりする。 | | |
| 関連科目 | 生徒指導 その他教職課程科目 | | |

| ○基本情報 | |
|------------------|--|
| 授業の目的 | ○学校教育における特別活動の意義や目標、内容について理解し、教師や学校の果たす役割について考察及び説明することができる。 ○学級活動(HR活動)、生徒会活動、学校行事それぞれの具体的な指導のあり方を理解する。 |
| 授業の概要 | 特別活動は、学校における様々な集団活動を通して、課題の発見や解決を行い、よりよい集団や学校生活をめざして行われる教育活動である。学校教育における特別活動の意義を理解し、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」及び、「チーム学校」の視点を持つとともに、学年の違いによる活動の変化、各教科等との往還的な関連、地域住民との連携等、特別活動の特質を踏まえた指導に必要な知識や素養を身につける内容である。授業では、学習指導要領に則して、またこれまでの学校生活体験の振り返りを踏まえて、特別活動の意義、目標、内容、評価について、講義、演習、集団討議、プレゼンテーション等さまざまな方法を通して学修する。 * 毎回課題レポートを出します。提出方法は講義時に指示します。 |
| 授業の運営方法 | (1) 授業の形式 「講義形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」 (3) アクティブ・ラーニング 「ディスカッション、ディベート」 |
| 地域志向科目 | 該当しない |
| 実務経験のある教員による授業科目 | 石橋 修 学校現場での教員経験を活かし、この授業では、学校教育における特別活動の意義や目標・内容をはじめ、一人一人の生徒がよりよい学校生活をおくれるような具体的な教育指導のあり方について、専門的知識と共に実践的指導力を身につけさせたい。 |

| ○成績評価の指標 | | ○成績評価基準(合計100点) | | |
|-------------------|--|-------------------|-------------------|------------------|
| 到達目標の観点 | 到達目標 | テスト (期末試験・中間確) | 提出物 (レポート・作品等) | 無形成果 (発表・その他) |
| 【関心・意欲・態度】 | 学校現場の諸課題に関心を持ち、特別活動の各授業内容及び課題に主体的に取り組もうとする意欲や態度を修得している。 | | 5点 | 5点 |
| 【知識・理解】 | 特別活動の意義や指導の在り方、必要な基礎的知識を理解し、生徒の望ましい成長・発達を援助する具体的支援法を理解している。 | 30点 | | |
| 【技能・表現・コミュニケーション】 | ディスカッションやグループ活動等に主体的に参加したり、授業内容をよく理解し自分の意見等を述べたりすることができる。レポート等において適切な文章表現ができる。 | | 10点 | 10点 |
| 【思考・判断・創造】 | 学校現場及び生徒をめぐる諸課題に対して、総合的・分析的等さまざまな観点から考察することができる。 | 30点 | 10点 | |

| ○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法) | |
|--|--|
| ○毎回レポート課題を実施し、評価に加味する。評価基準は以下の通り。 S 授業内容をよく理解し、振り返りながら自分の意見等も述べている。 A 授業内容をよく理解し、振り返ることができる。 B 授業内容をだいたい理解し、振り返ることができる。 C 授業内容を一部理解し、振り返ることができる。 D 授業内容の理解が不十分である。 レポートや課題は次回以降の授業の際に返却する。 ○基本的な用語についての理解度を測る、中間確認としての「小テスト」を実施する(20点分)。評価基準はレポートと同様。 | |

| ○その他 | |
|--|--|
| ・教科書は主として高等学校の解説書を使用しますが、取得する学校種の解説書は全て準備してください。 ・毎回のレポートには質問や要望、意見等を書く欄を用意しています。遠慮せずに書いてください。なお、質問等は授業中ももとより、メール(ishibashios@nbu.ac.jp)等他の方法でも受け付けています。 ・教員を目指す人を支援するために、期末試験は教員採用試験に出題されるレベルの問題となりますので、そのつもりで履修し、学習を深めてください。 | |

2024年度 授業シラバスの詳細内容

| ○授業計画 | 科目名 担当教員 | 特別活動の指導法 (A Study About a Teacher Training Course) | 授業コード | K006651 |
|--|---|--|-------|---------|
| 学修内容 | | | | |
| 1. 「特別活動の指導法」の課題と学習意欲の涵養およびオリエンテーション ○本授業科目のシラバスを十分に理解する。 ○自身がこれまで体験してきた特別活動を振り返るとともに、特別活動の意義を理解し、学修の見通しを立てる。 | | | | |
| 予習 | 特別活動とは何か。どんな内容か。体験から考察したり、調べたりしておく。 | | | (約2.0h) |
| 復習 | レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。 | | | (約2.0h) |
| 2. 特別活動改訂の趣旨及び要点について ○改訂の趣旨(特別活動の成果と課題、改訂の基本的方向性) ○改訂の要点(目標、内容構成等) | | | | |
| 予習 | 教科書の該当箇所(pp.6-10)を予習しておく。 | | | (約2.0h) |
| 復習 | レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。 | | | (約2.0h) |
| 3. 特別活動の目標について(1) ○特別活動の目標 ・特別活動における「人間関係形成」、「社会参画」、「自己実現」の視点 ・特別活動で育成を目指す資質や能力 | | | | |
| 予習 | 教科書の該当箇所(pp.11-18)を予習しておく。 | | | (約2.0h) |
| 復習 | レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。 | | | (約2.0h) |
| 4. 特別活動の目標について(2) ○特別活動の目標と各活動・学校行事の目標との関連 ○特別活動における「主体的・対話的で深い学び」の実現 | | | | |
| 予習 | 教科書の該当箇所(pp.18-21)を予習しておく。 | | | (約2.0h) |
| 復習 | レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。 | | | (約2.0h) |
| 5. 特別活動の基本的な性格と教育活動全体における意義 ○人間形成と特別活動 ○特別活動の教育活動全体における意義 ○特別活動の内容相互の関連 | | | | |
| 予習 | 教科書の該当箇所(pp.22-29)を予習しておく。 | | | (約2.0h) |
| 復習 | レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。 | | | (約2.0h) |
| 6. 特別活動と各教科等との関連 ○各教科・科目との関連 ○道徳教育との関連 ○総合的な学習(探究)の時間との関連 ○生徒指導等との関連 | | | | |
| 予習 | 教科書の該当箇所(pp.29-35)を予習しておく。 | | | (約2.0h) |
| 復習 | レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。 | | | (約2.0h) |
| 7. ホームルーム活動の目標と内容 ○ホームルーム活動の目標 ○ホームルーム活動の内容 | | | | |
| 予習 | 教科書の該当箇所(pp.36-58)を予習しておく。 | | | (約2.0h) |
| 復習 | レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。 | | | (約2.0h) |
| 8. ホームルーム活動の指導計画と指導の在り方 ○ホームルーム活動の指導計画 ○ホームルーム活動の内容の取扱い | | | | |
| 予習 | 教科書の該当箇所(pp.58-69)を予習しておく。 | | | (約2.0h) |
| 復習 | レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。 | | | (約2.0h) |

| ○授業計画 | 科目名 担当教員 | 特別活動の指導法 (A Study About a Teacher Training Course) | 授業コード | K006651 |
|--|---|--|-------|---------|
| 学修内容 | | | | |
| 9. 生徒会活動の目標と内容 ○生徒会活動の目標 ○生徒会活動の内容 | | | | |
| 予習 | 教科書の該当箇所(pp.70-75)を予習しておく。 | | | (約2.0h) |
| 復習 | レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。 | | | (約2.0h) |
| 10. 生徒会活動の指導計画と指導の在り方 ○生徒会活動の指導計画 ○生徒会活動の内容の取扱い | | | | |
| 予習 | 教科書の該当箇所(pp.76-85)を予習しておく。 | | | (約2.0h) |
| 復習 | レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。 | | | (約2.0h) |
| 11. 学校行事の目標と内容 ○学校行事の目標 ○学校行事の内容 | | | | |
| 予習 | 教科書の該当箇所(pp.86-96)を予習しておく。 | | | (約2.0h) |
| 復習 | レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。 | | | (約2.0h) |
| 12. 学校行事の指導計画と指導の在り方 ○学校行事の指導計画 ○学校行事の内容の取扱い | | | | |
| 予習 | 教科書の該当箇所(pp.96-103)を予習しておく。 | | | (約2.0h) |
| 復習 | レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。 | | | (約2.0h) |
| 13. 指導計画の作成と内容の取扱いについて ○指導計画の作成に当たったの配慮事項を理解する。 ○内容の取扱いについての配慮事項を理解する。 | | | | |
| 予習 | 教科書の該当箇所(pp.104-123)を予習しておく。 | | | (約2.0h) |
| 復習 | レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。 | | | (約2.0h) |
| 14. 特別活動の指導を担当する教師、特別活動における評価 ○特別活動にあたる教師に求められる姿勢や資質について理解する。 ○特別活動における評価について理解する。 | | | | |
| 予習 | 教科書の該当箇所(pp.125-127)を予習しておく。 | | | (約2.0h) |
| 復習 | レポート課題に取り組むとともに、再度教科書や資料等を読み直し、必要事項をノートに整理する。 | | | (約2.0h) |
| 15. まとめ～特別活動の意義と教師の役割～ ○これまでの学修を振り返り、学んだことを発表したり、まとめたりする。 ○これまでの学びを生かして、実践記録を分析する。 (○試験や成績等について再確認する。) | | | | |
| 予習 | これまでの学修を振り返り、学んだことを整理しておく。 | | | (約2.0h) |
| 復習 | これまでの学修を振り返り、実践記録を分析したり、まとめたりする。 | | | (約2.0h) |
| 16. 試験 これまでの授業内容について、総合的な試験を実施します。 試験の概要については、事前に連絡します。 | | | | |
| 予習 | | | | |
| 復習 | | | | |